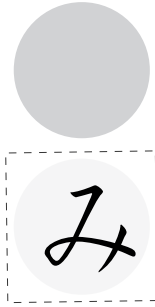
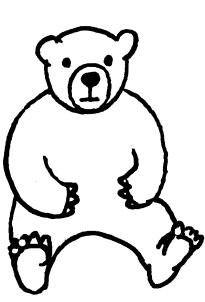


1) 絵の「ね・み・く」の読みを探索。
2) 同じ文字が、しり取りのどこにあてはまるかを考えて貼る。
3) それぞれの単語ごとに読みの点押さえをし、尾音と頭音が同じ音で、1つの文字で兼ねられていることに気がかせる。

a) 同じ文字が同じ音(の場所)に使われることを意識させる。
「ふね」の「ね」と「ねずみ」の「ね」に同じ文字が使われることを納得するのが文字意識の出発点であり、「数字開眼」読める体験を通してひらがな表記になじむ。

Date /
Note
評



どこへはれば
いいのだろう。



み
く
ね